

パパ・ママ子育て知恵袋

第37回は「親としての力」

泣き止まないからお菓子を与える。子供は泣けばお菓子がもらえると学習する。そこでお菓子がほしくなると泣く。ゲームをやりたいと言って泣く。仕方ないからゲームを与える。ゲームをやらせておけば静かだから、そのままにしておく。スマホが欲しいと言ってぐずる。スマホがなければ学校に行かないとごねる。学校に行かないのは困るから与える。食事中もスマホから目を離さない。叱るとふてくされるから、そのままにしておく……。

こういうケースは、大抵、ママのワンオペ育児です。そして多分、このママは、これまで何度も「親がもっとしっかりしないとダメですよ」とか「親なんだから、子供の言いなりになってどうするの」と言われ続けてきたはずです。ママ自身が自分を責めて、ため息をついたことは何百回もあったでしょう。「もういやだ！」となって子供を叩いてしまえば、虐待の始まりですし、子供の力が強くなれば家庭内暴力の始まりです。

さて、このコラムをお読みいただいている方で「あ、これは私のこと？」と思ったら、絶対に一人で抱えないでください。誰かに頼るといいです。子どもを産んだら、誰にも平等に「親としての力」がそなわるというわけではありません。もっと言えば、親に向いている人もいれば、親には向いていない人もいます。だから、自分一人で（ワンオペで）子供を育てようとしません。頼った結果、「もう少し頑張ってくださいね」と言われたら、その人には次回から相談しないことです。だって、そもそも頑張り方がわからないのだし、自分なりに頑張ってきたけれど、どこかでボタンを掛け違えて困っているのだから。

でも、誰かに頼ることは続けて。きっと受け入れてくれる人はいますから。

ダメな親、ダメな大人にもっと寛容な世の中になればいいのに。そうならば、ゆっくりゆっくり親になっていくことができるはず。ゆっくりゆっくり子供と一緒に成長していけるはず。ダメな自分を許してあげられれば、子育てはどんなに楽になるか……。ダメな親の代表として、最近、こんなことばかり考えています。